

# 早期リハビリテーションを実施した消化管穿孔術後患者の フレイルと日常生活自立度の調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

## 1. 研究の対象

2016年7月～2019年5月までに湘南鎌倉総合病院 一般外科で緊急開腹術を受け、術後にICUへ入室し早期リハビリテーションが導入された消化管穿孔患者さまです。

## 2. 研究目的・方法

術前・術後のフレイル・日常生活自立度の変化の状況について検討します。

これにより早期リハビリテーションの有用性について、臨床研究の蓄積の一助となることを期待しています。研究期間は、施設院長承認後から2020年5月までです。

## 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

## 4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、体格、手術内容、入院所見、リハビリテーション状況、入院前と退院時の寝たきり度 等

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 長谷川光一

湘南鎌倉総合病院、リハビリテーション科・理学療法士

神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1 TEL 0467-46-1717

(2019年12月31日作成(第1.0版))